

医療情報システム向けに EMC Isilon を導入する 5つの理由

- 1 NAS (ネットワーク接続型ストレージ) の - 散在を解消**

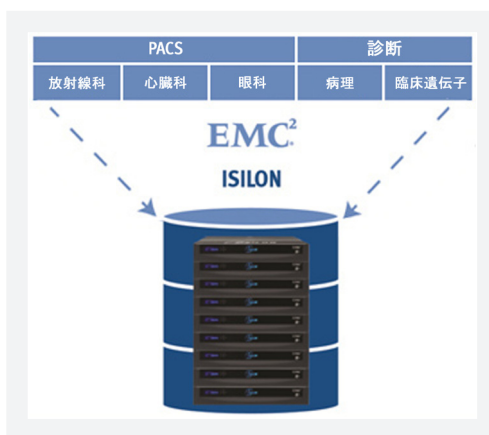
EMC® Isilon® スケールアウト NAS は、非常に拡張性の高いパフォーマンスと拡大し続けるネームスペースを提供して、組織のファイル共有と医療アプリケーションの統合を可能にします。これにより、ファイル・サーバの無秩序な増加の抑制、管理の合理化、バックアップと災害復旧オペレーションの簡素化、コストの削減が実現します。
- 2 手動でのユーザーとデータの移行を排除**

EMC Isilon OneFS® の単一ファイル・システムのシンプルな構成は、時間とコストがかかる手動でのクライアントとデータの移行という HIS (医療情報システム) の最大の問題を解決します。EMC Isilon AutoBalance™ テクノロジーは、手動での移行の時間、コスト、複雑さを規模にかかわらずインフラストラクチャから完全に排除します。ストレージ・ノードのホット・スポットをなくし、容量を均衡させ、システムのすべてのリソースを常に最適な状態に保ちます。
- 3 複雑さを増すことなく予測可能な拡張性**

EMC Isilon クラスタにはストレージ・ノードを 60 秒ほどで追加でき、複雑さを増すことなく予測可能な形で簡単にアップグレードを行えます。ニーズが将来どのように変わっても、EMC Isilon ではパフォーマンスと容量をともに直線的に拡張でき、15 PB 以上の容量でも管理はシンプルのままです。そのため、医療機関は現在の要件に合ったインフラストラクチャで開始でき、将来のためにパフォーマンスや容量を過剰に購入しておく必要はありません。また、運用コストも設備投資もかさむ孤立したデータが増えることもありません。
- 4 短期的なアクティブ・データと長期的なアーカイブ・データの統合**

単一の EMC Isilon クラスタを、小規模の構成から開始して、15 PB 以上の容量に容易に拡張することができます。システムの自動管理機能とプロビジョニング機能により、システムの状態が監視され、システムに障害が発生した場合は自動修復が行われます。パフォーマンス重視の EMC Isilon X シリーズ・プラットフォーム・ノードと大容量 NL シリーズ・プラットフォーム・ノードをクラスタ構成で使用することで、単一の Isilon NAS クラスタを同時に利用できます。放射線科、心臓科、PACS、アーカイブ・リポジトリなどの混在するワークロードに対応でき、アプリケーションのパフォーマンスや、各モダリティに必要な特殊なデータ保護を犠牲にすることなく、複数のハードウェア・プラットフォームによるコスト増や複雑化を排除できます。
- 5 アーカイブ向けのシンプルで効率的な自動階層化**

EMC Isilon Smart Pools™ の自動階層化機能により、ファイル・データは、単一ネームスペース、ファイル・システム、ボリューム内の Isilon NAS ノードの複数階層間を移動します。時間のかかる手動でのプロセスや複雑なリンク / スタブは不要です。SmartPools はポリシー・ベースであるため、データの価値を定義することで、データが自動的に適切なコスト・パフォーマンス / 保護階層に配置されます。



EMC®, EMC, Isilon, Auto Balance, OneFS, SmartPools, および EMC のロゴは、EMC Corporation の登録商標または商標です。その他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
© Copyright 2012 EMC Corporation. All rights reserved. (不許複製・禁無断転載) H10700-J4/12